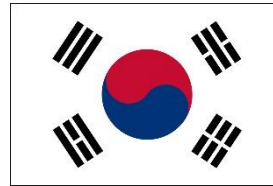




平成30年度 地域別海外誘客プロモーション計画



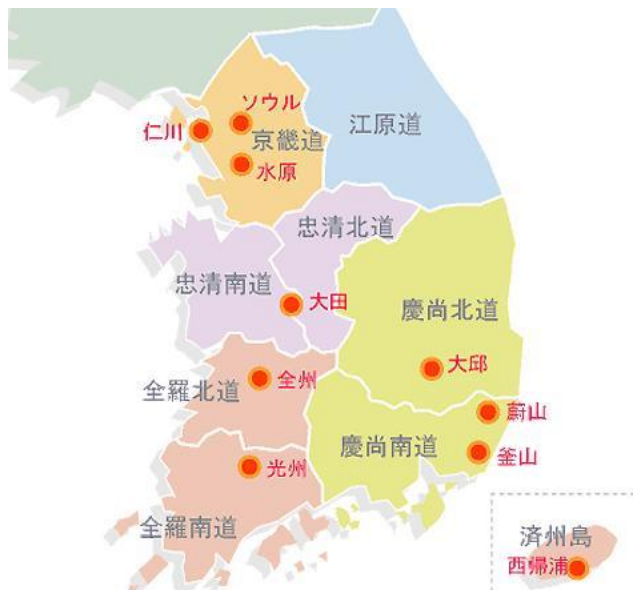
韓国



目次

- 韓国基礎データ(P2)
- 訪日韓国人観光客の推移(P3)
- 訪沖韓国人観光客の推移(P4)
- 訪沖外国人観光客について(P5-11)
- 月別入域観光客数の推移(P12)
- 韓国人観光客の旅行シーズン(P13)
- 韓国空路定期就航状況(P14)
- 韓国航空路線実績(ソウル)(P15)
- 韓国航空路線実績(釜山)(P16)
- 訪沖韓国人観光客の推移(空路海路別)(P17)
- H30年度観光客数の目標(P18)
- H30年度観光プロモーション方向性(P19)
- H30年度観光プロモーション計画(P20)

韓国の基礎データ



人口	51,714,935人(2016年7月)
面積	100,266 km ² (日本の約4分の1)
首都	ソウル
通貨	ウォン
言語	韓国語
1人当たりGDP	27,633 ドル(2016年)
年間出国者数	22,383,190(2016年)



※出典：日本政府観光局(JNTO)

主要な都市別の1人当たりGDP (2016年)

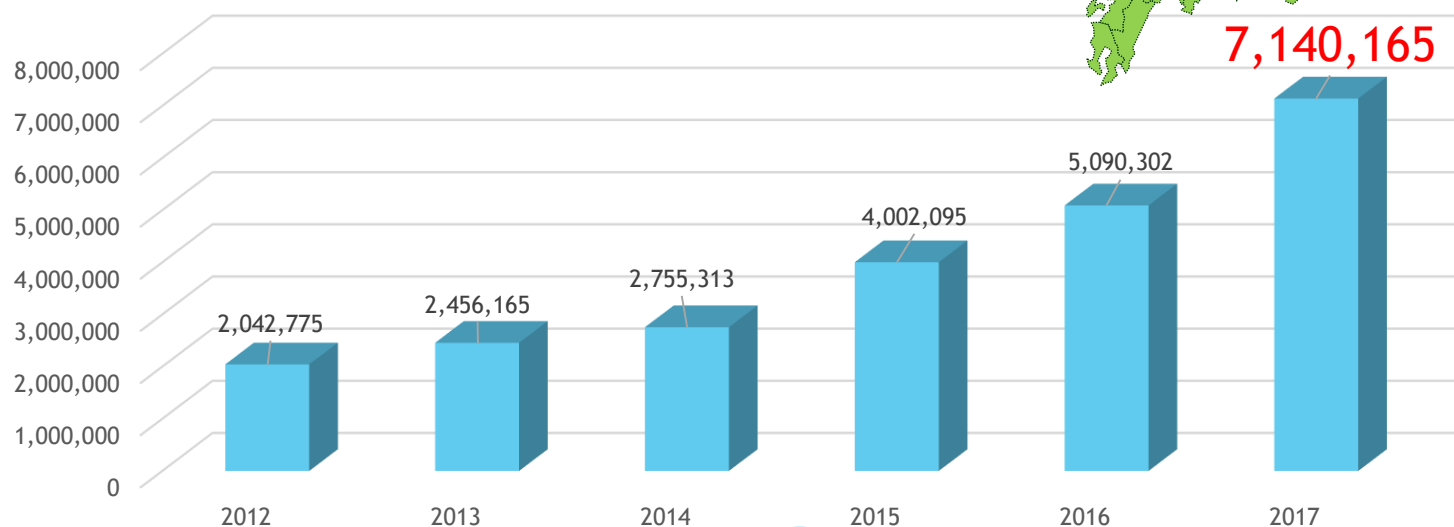
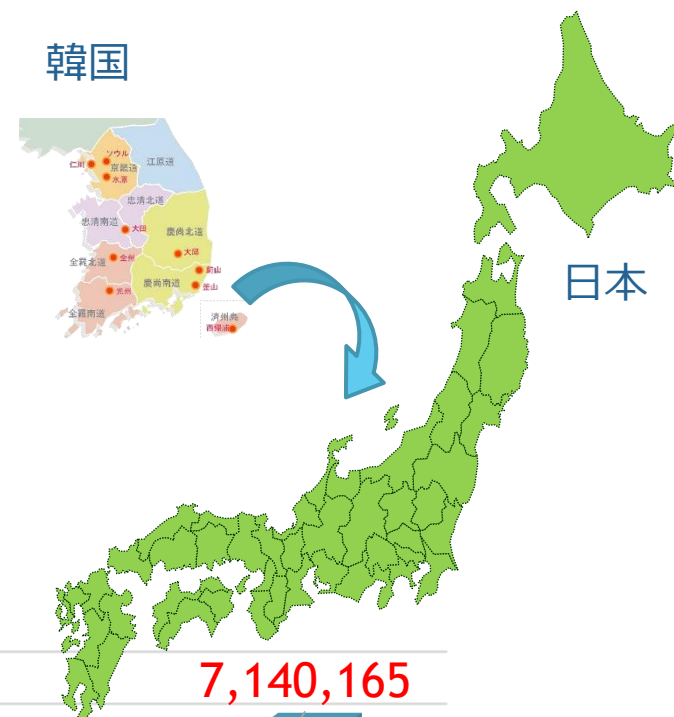
1位	蔚山：60,956	6位	忠北：35,008
2位	忠南：49,865	7位	慶南：32,214
3位	全南：37,899	8位	京畿：29,524
4位	慶北：36,794	9位	光州：27,818
5位	ソウル：36,244	10位	江原：27,443

※単位：千ウォン ※出典：韓国統計庁

訪日韓国人観光客の推移

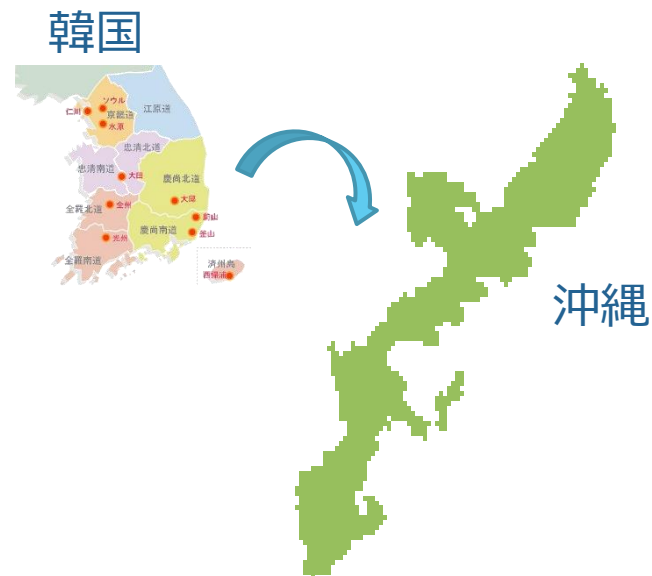
暦年データ	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	2,042,775	2,456,165	2,755,313	4,002,095	5,090,302	7,140,165
構成比(%)	24	24	20	20	21	25
伸率(%)	23	20	12.2	45.3	27.2	40.3

※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

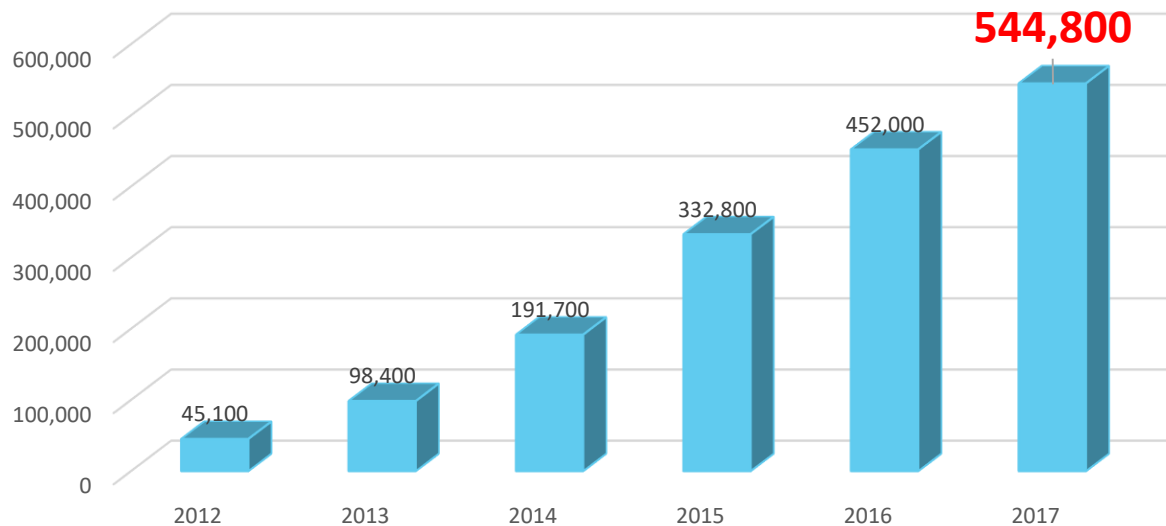


訪沖韓国人観光客の推移-韓国市場

年度 データ	2012	2013	2014	2015	2016	2017
人数(人)	45,100	98,400	191,700	332,800	452,000	544,800
構成比(%)	11.8	15.7	19.4	19.9	21.2	20.2
伸率(%)	73.5	118.2	94.8	73.6	35.8	20.5
訪沖/訪日 (%)	2.2	4.0	7.0	8.3	8.9	7.6

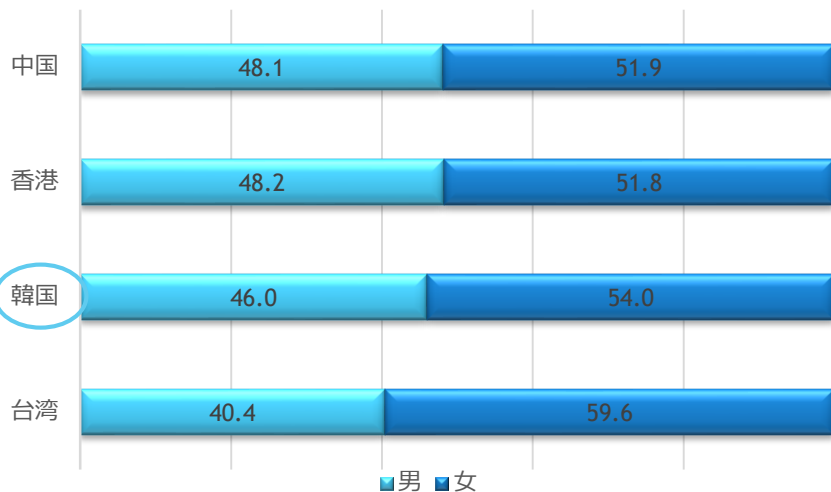


※構成比とは、訪日外国人観光客数全体に占める割合

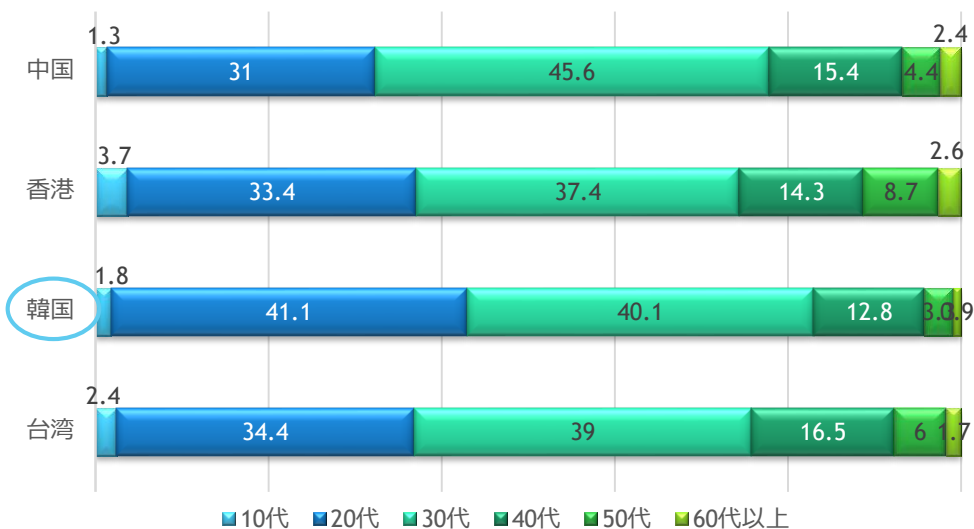


訪沖外国人観光客について-韓国市場

1 性別構成比



2 年代別構成比

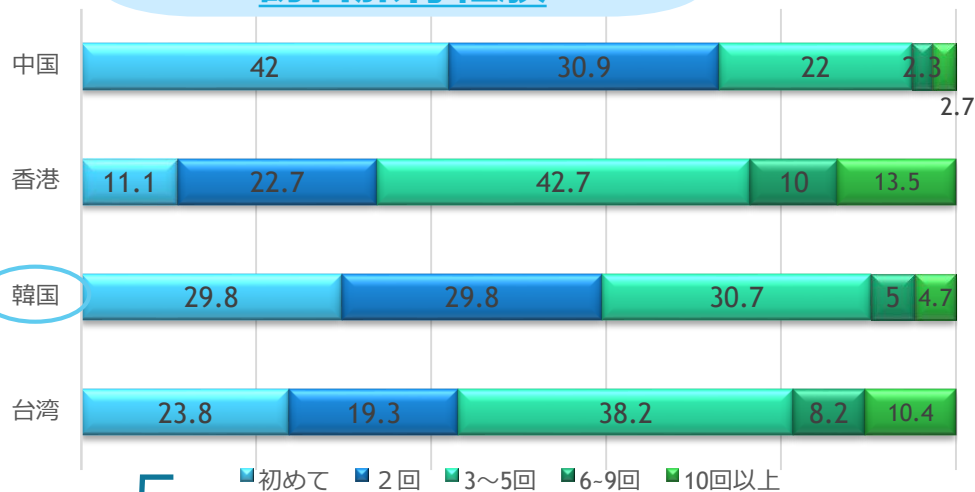


- 女性がやや多め
- 30代までの比較的若い層が中心となっている
→消費力のある40代以降の割合が他市場と比較して低め
- 傾向としては他の重点市場圏と似ている

※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について-韓国市場

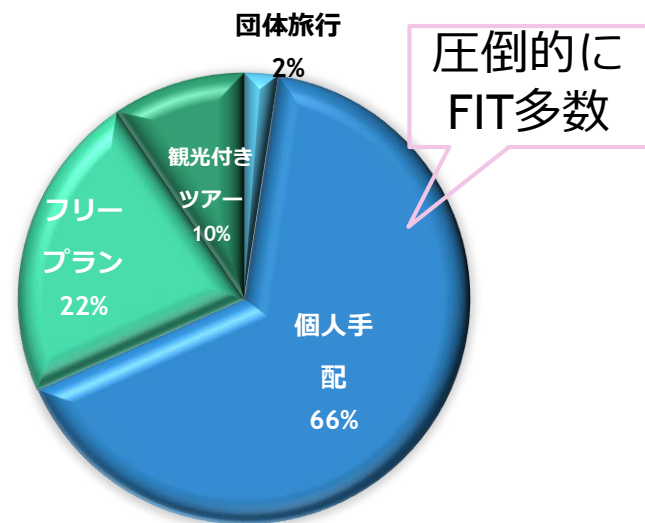
3 訪日旅行経験



5 訪沖旅行経験(%)



4 旅行形態(%)



訪日経験は中国に比べて「初めて」が10ポイントも少ないが、沖縄旅行の経験「初めて」は逆転している。

↓
日本には来ているが沖縄に来ていない**潜在層**が他市場に比べて大きい。

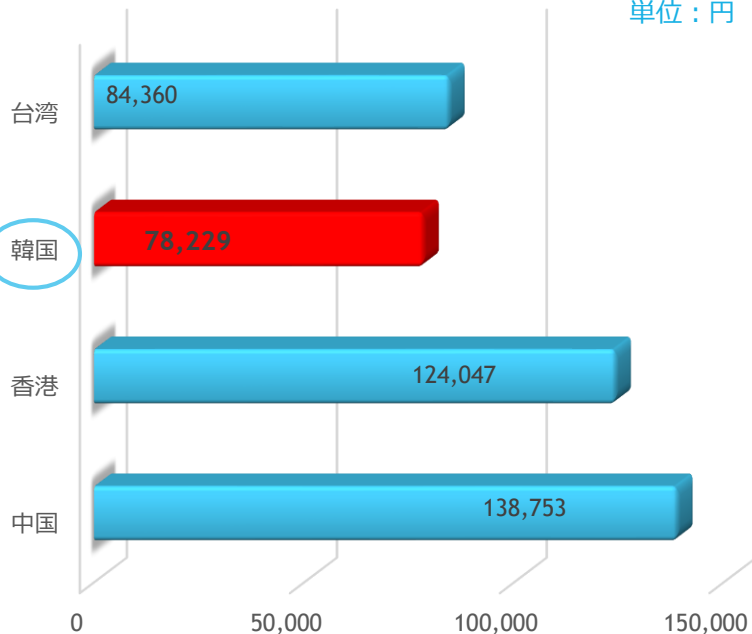
個人手配・フリープランが大半を占めることから海外旅行への抵抗は少ない。

※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について-韓国市場

6 平成28年度 海外重点市場 県内平均消費額

単位：円

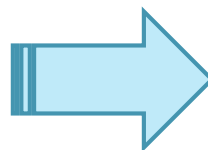


6-2 平成28年度 海外重点市場 県内平均宿泊数

地域	平均消費額	平均宿泊数
中国	138,753	3.98
香港	124,047	4.28
韓国	78,229	3.12
台湾	84,360	3.65

県は、第5次沖縄県観光振興基本計画（H29年3月改訂版）において、2021年度の目標を平均滞在日数4.5日と定めています。

日本全体（H29年度訪日外国人の消費動向調査より）
平均消費額：71,795円
平均宿泊数：4.3泊

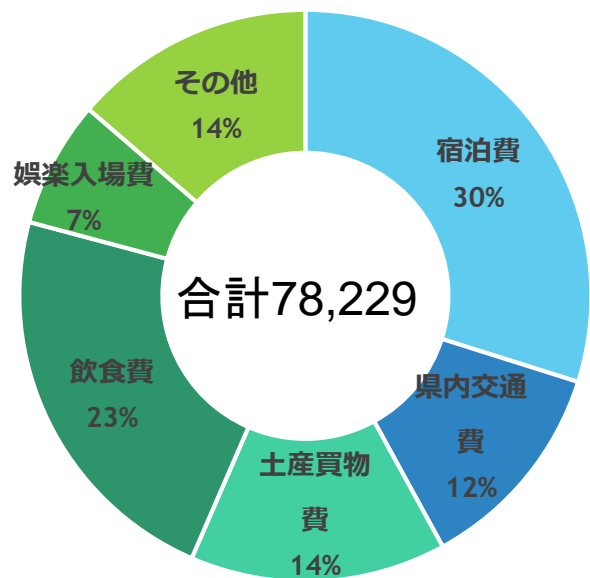


+1泊を目指して
北部・離島への誘致

※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について

6-3 一人当たり観光消費内訳（韓国）



宿泊費	23,365
県内交通費	9,511
土産買物費	11,330
飲食費	17,718
娯楽入場費	5,600
その他	10,705
合計	78,229

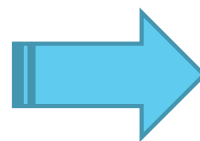
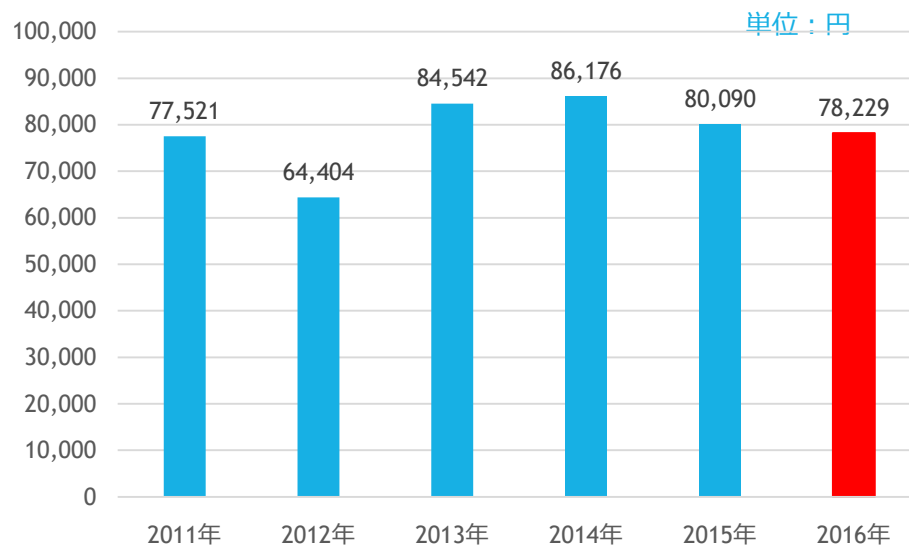
→平均宿泊数で割ると1泊7,488円

→レンタカー利用率約64%

→購入したもので多いのは菓子・酒・医薬品健康グッズ

日本平均
買物：19,530円
飲食：18,435円

7 県内平均消費額の推移（韓国）



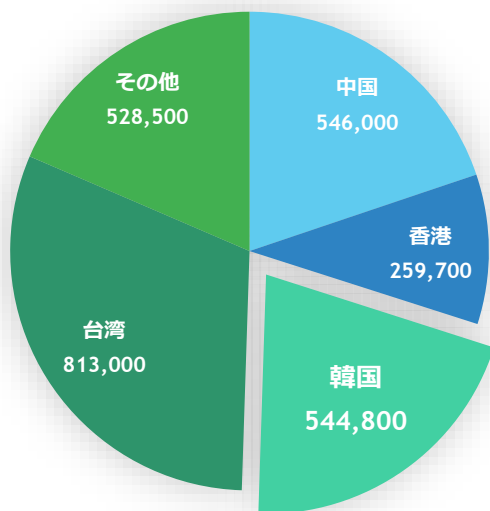
**買物・飲食は
日本平均より安い
伸びしろあり！**

H29年度訪日外国人消費動向調査との比較

※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

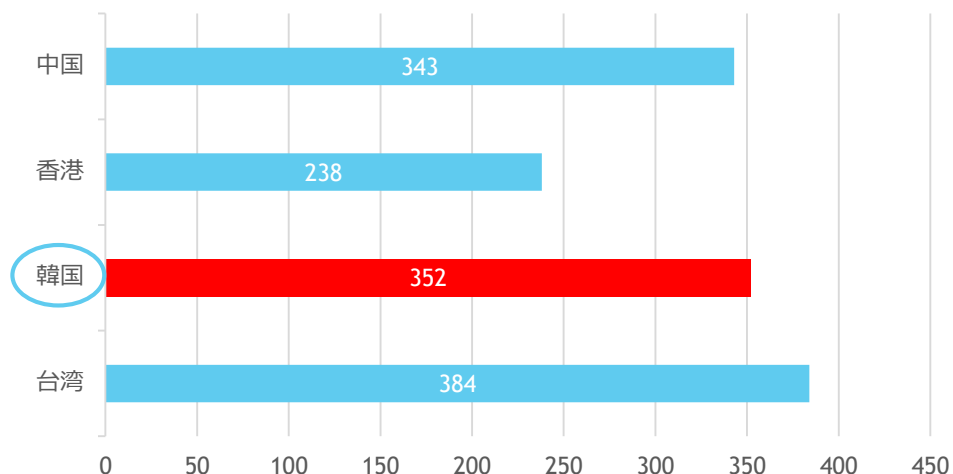
訪沖外国人観光客について

8 平成29年度 外国人観光客入域客数



地域	入域客数	対全体比
台湾	813,000	30.2%
中国	546,000	20.3%
韓国	544,800	20.2%
香港	259,700	9.6%
その他	528,500	19.6%
合計	2,692,000	

9 観光収入(単位：億円)

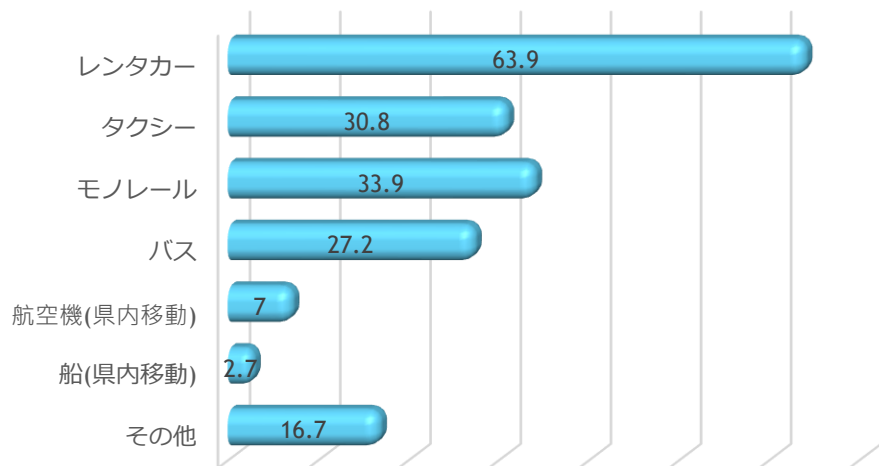


全体構成比としては1ポイント減
観光収入は人数の伸びにより中国を上回った。
→単価の高い航空利用客の増加

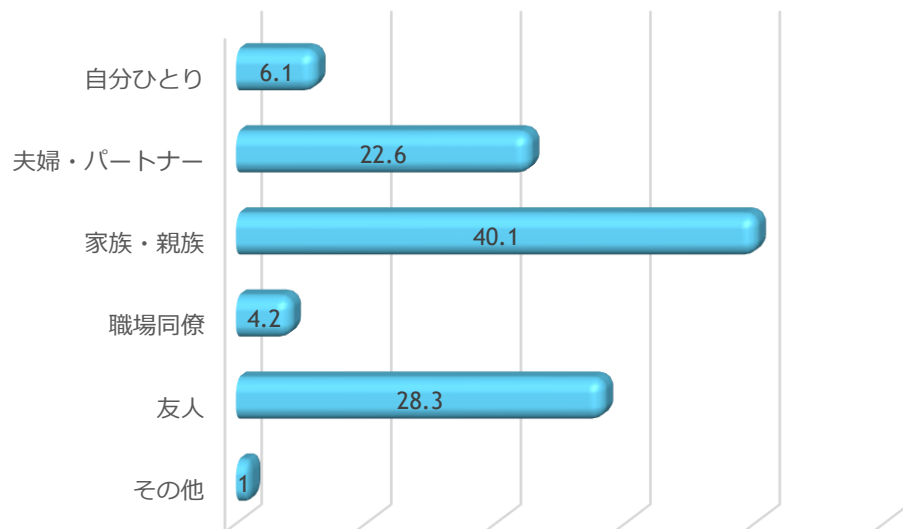
※出典：平成28年度外国人観光客実態調査報告書

訪沖外国人観光客について

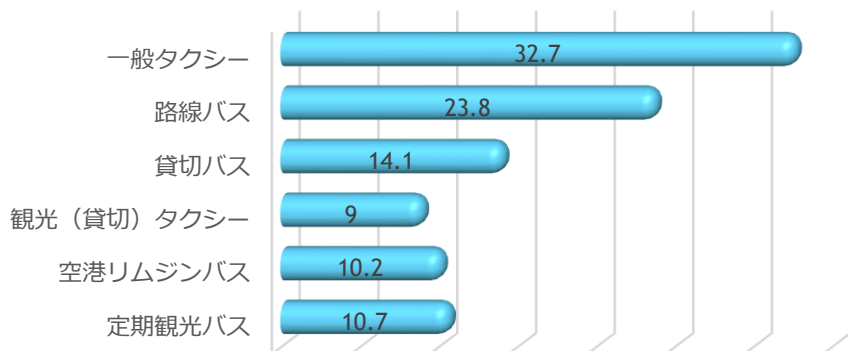
10 交通手段 (%)



11 同行者 (%)



10-1 バス・タクシー内訳 (%)



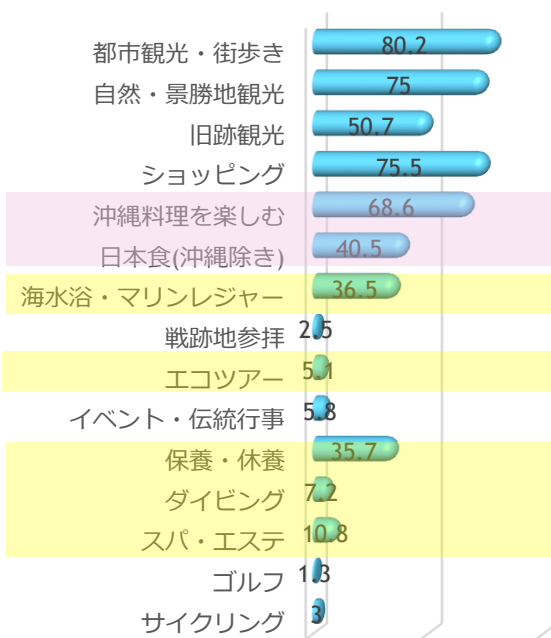
レンタカー利用者の増加は継続。
→ FIT化の特徴のひとつ

家族旅行と友人同士のグループ旅行が中心
だが、ひとり旅は重点市場で最も多い。

訪沖外国人観光客について

12

行った活動(%)



行った活動について満足した人の割合(%)



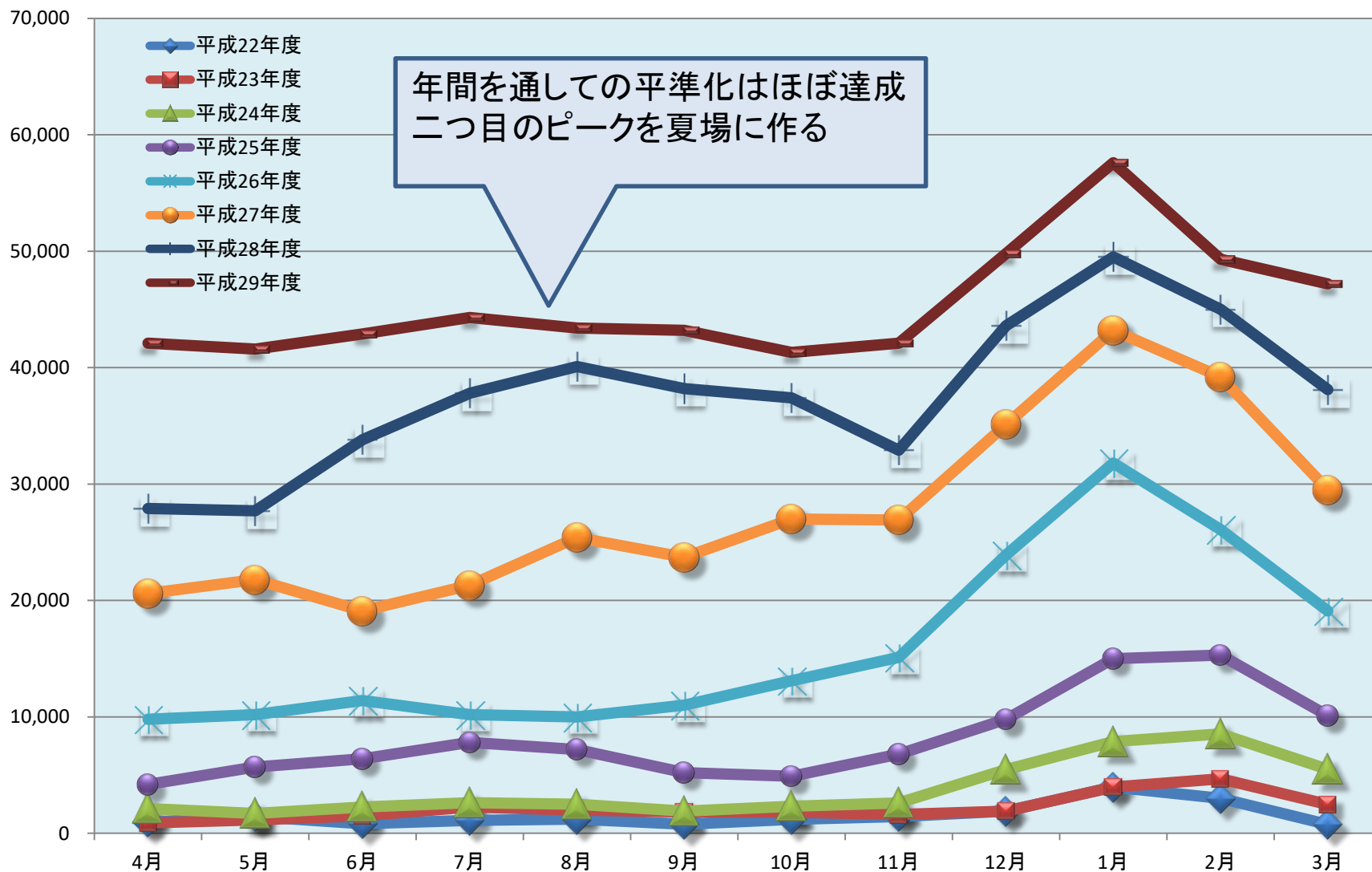
次回行いたい活動(%)



満足度の高くない食（沖縄料理・日本食）は多様性の紹介と素材のストーリー性満足度65%~70%を目標にする →満足度向上へ

満足度や次回意欲の高いマリンレジャー、ダイビング、エステ等は予約方法等の詳細情報露出で実施へつなげる →消費単価向上へ

月別入域観光客数の推移(H22~H29)



韓国人観光客旅行シーズン

2018年祝祭日

休日	日数	期間
新正月	1日	1月1日
ソルラル（旧正月）	4日	2/15-2/18
独立運動記念日	1日	3月1日
こどもの日	1日	5月5日
釈迦誕生日	1日	5月22日
顕忠日（忠霊記念日）	1日	6月6日
2018年地方選挙	1日	6月13日
光復節（独立記念日）	1日	8月15日
秋夕（旧暦8月15日）	3日	9/23-9/26
開天節（建国記念日）	1日	10月3日
ハングルの日	1日	10月9日
クリスマス	1日	12月25日

※出典：韓国観光公社発表データより作成

旅行のピークとボトム

ピーク

- 年末年始
- 旧正月
- 冬場

ボトム

目立ったボトム期はない

※歴年のデータによりピークとボトム期間も同様

2つ目のピーク

夏場（7月~9月）にもう一つの山場を作る

空路定期便運航状況

就航都市	航空会社名	機材	提供座席数	便数	就航日	備考
ソウル	アジアナ航空 (OZ)	A321	174席	週7便	デイリー	需要に応じて機材変動あり
	ジンエアー (LJ)	B777-200	393席	週7便	デイリー	需要に応じて機材変動あり
	済州航空 (7C)	B737-800	186席	週7便	デイリー	
	t'way航空 (TW)	B737-800	189席	週7便	デイリー	
	Peach Aviation (MM)	A320-200	180席	週7便	デイリー	
	イースター航空 (ZE)	B737-800	189席	週7便	デイリー	
	大韓航空 (KE)	B737-900	159席	週7便	デイリー	需要に応じて機材変動あり
釜山	アジアナ航空 (OZ)	A320	159席	週3便	水・金・日	
	ジンエアー (LJ)	B737-800	189席	週3便	デイリー	
大邱	t'way航空 (TW)	B737-800	189席	週5便	月・火・木・土・日	

平成30年4月末現在

平成29年度 空路実績

1 年間平均搭乗率：84.9%

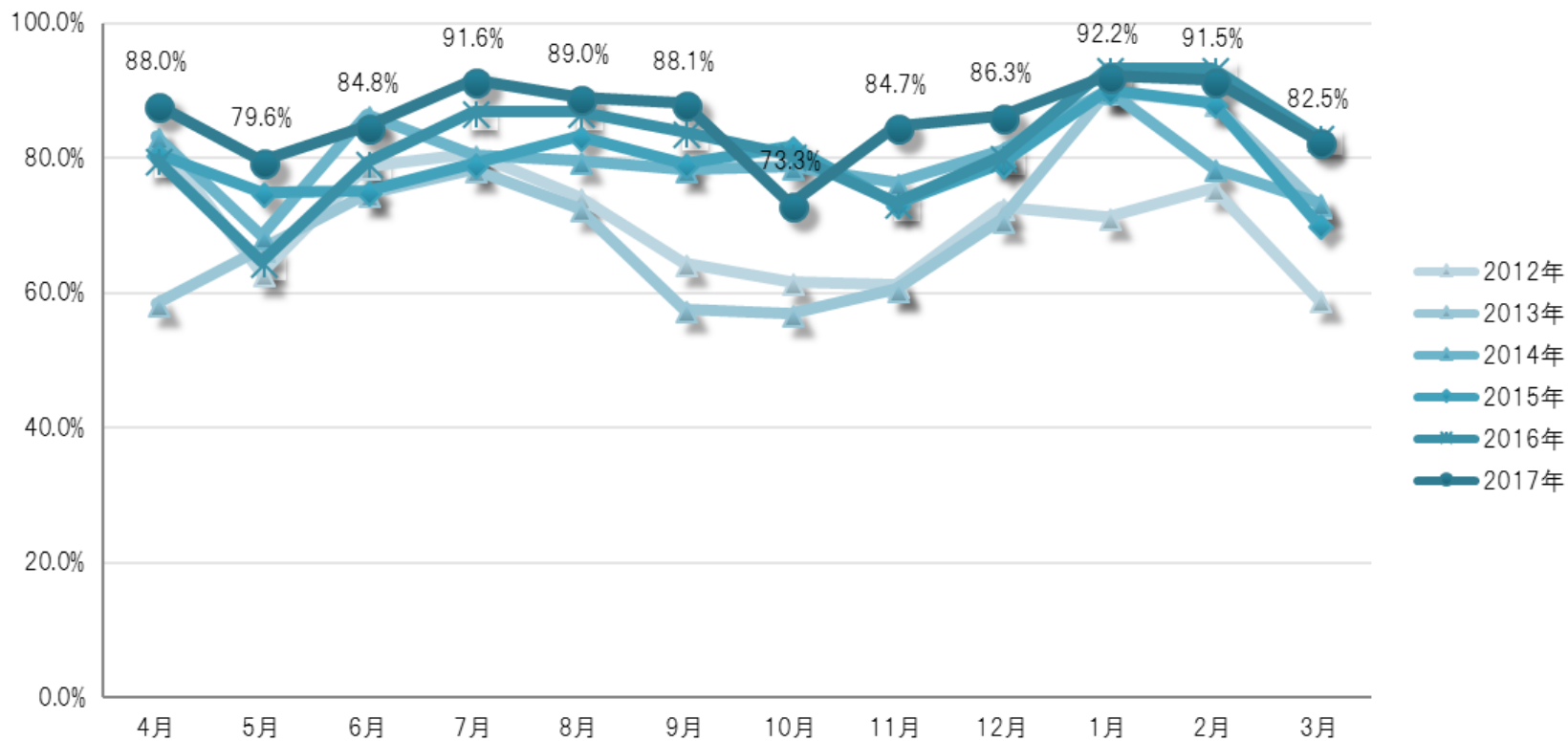
2 年間座席提供数：667,472席

3 年間搭乗者数：566,373人

平成29年航空路線実績数値

ソウル+那覇搭乗率

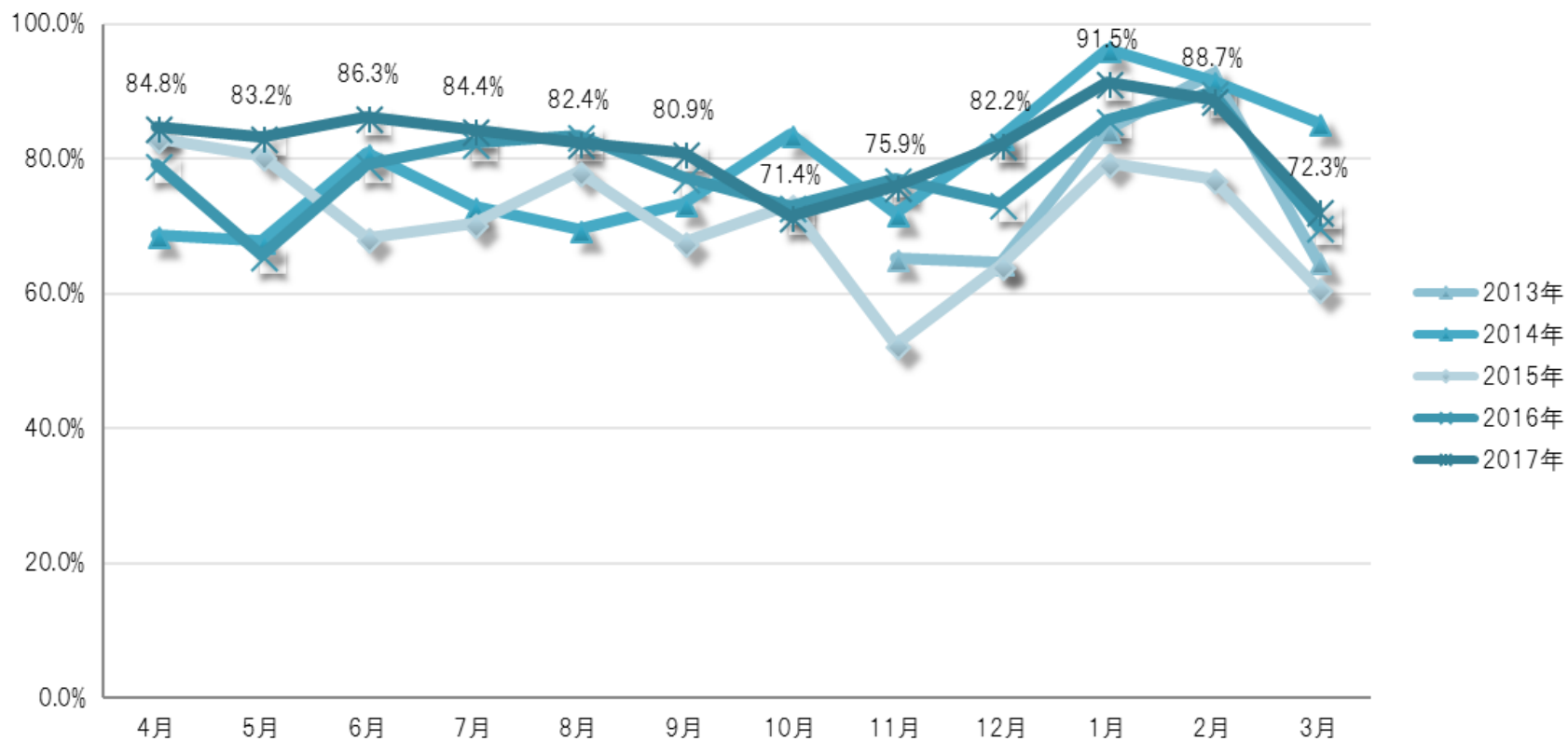
ソウル(仁川)-那覇 搭乗率推移



平成29年航空路線実績数値

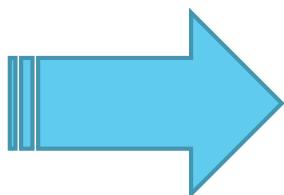
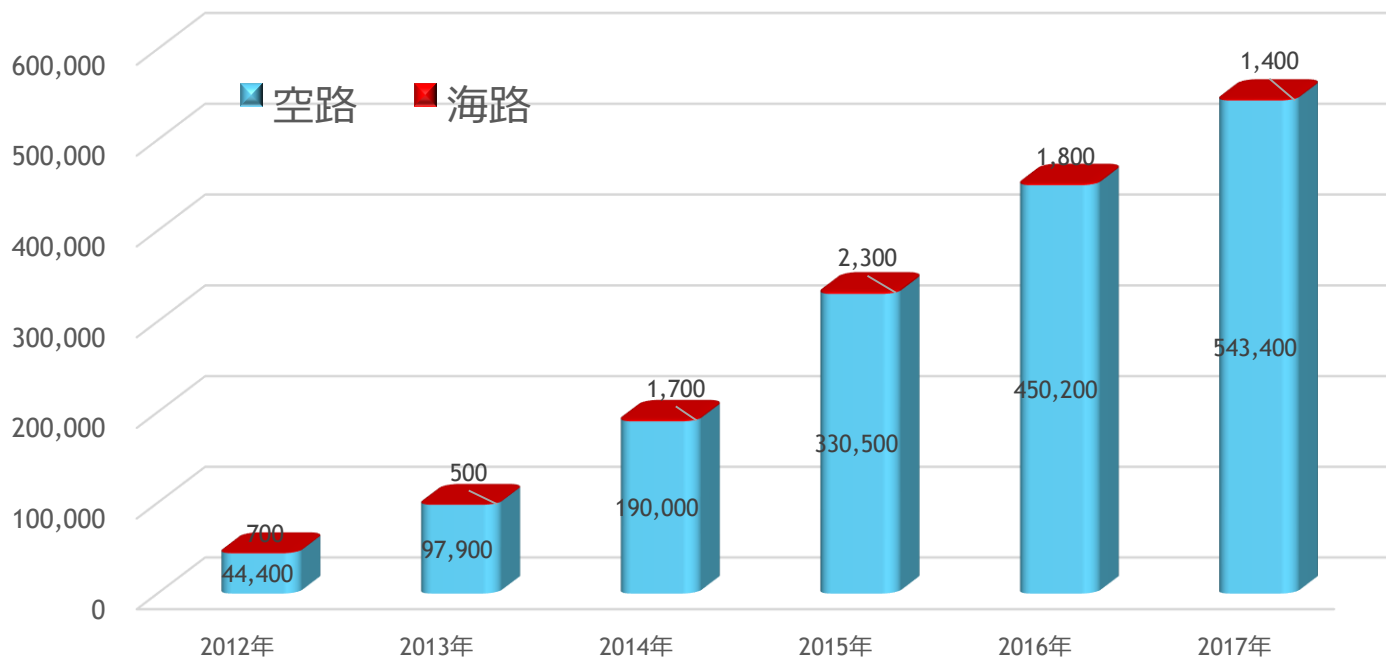
釜山-那覇搭乗率

釜山-那覇 搭乗率推移



訪沖韓国人観光客の推移（空路・海路）

※出典：沖縄県発表入域観光客数データを基に作成



航空客での増加率は重点市場でもトップクラス
大邱便就航・チャーター便・潜在層のほかクルーズも
今後の期待値は高い

平成30年度韓国人観光客 来沖観光客誘致目標数

H29

実績：544,800人

H30

目標：563,000人

目標に向けて

【定期便】 搭乗率の維持・新規就航便の維持
乗り継ぎ可能な地方都市の需要掘り起こし

【定期便】 トランジット利用拡大
那覇経由の宮古・石垣・久米島への送客増大

【チャーター便】 誘致
離島プログラムチャーター便／韓国地方都市発のチャーター便

平成30年度韓国市場プロモーションの方向性

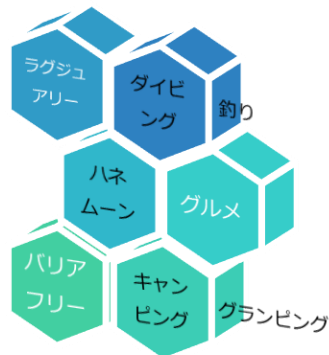
1

消費単価の向上

周辺離島、本島北部を活かした滞在日数の増加

多様な旅行素材の情報発信強化

高付加価値商品造成



2

入域客数の向上

20～30歳代若者層
テーマ型旅行促進

40～60歳代余裕層
離島旅促進

お子様連れ家族層
体験型旅行促進

FIT向け情報発信強化
(グルメ・体験・イベントなど旬の情報)

3

満足度の向上

食への満足度

テーマ型コンテンツの満足度



リピーター創出

平成30年度 韓国市場プロモーション計画

旅行博

セミナー 商談会

通年事業

夏向け
4月～6月

- ・ハナツアー旅行博覧会(6/7-6/10)
- ・KOTFA(6/14-6/7)

- ・VJ商談会inソウル(6/5)

秋向け
7月～9月

- ・モードツアー旅行博覧会(8/30-9/2)
- ・BITF釜山(9/7-9/10)

- ・沖縄セミナー/商談会/ナイトin韓国(8/21)
- ・VJ商談会in釜山(9/6)

冬向け
10月～12月

- ・SPOEX(2月下旬)
- ・キャンピングピクニック(2月下旬～3月上旬)

春向け
1月～3月

- ・招聘事業
(テーマ型、次期調整中)
- ・招聘支援
- ・航空会社タイアップ
- ・旅行会社タイアップ
- ・宣伝物作成
- ・観光広告
- ・SNS情報発信